

呼吸器外科学/小児外科学

責任者： 谷田 達男 教授

教育成果（アウトカム）：

1. 呼吸器外科学
 - (1) 呼吸器病に関わる治療法、特に呼吸器外科学的手法について学習することで、呼吸器疾患を正しく管理・診察・治療を会得できる。
 - (2) 自己学習の習慣を養うことによって医師として望ましい態度を会得できる。
2. 小児外科
 - (1) 小児外科における各疾患の診断法、周術期の患者管理に必要な基本知識と技術を習得することで、小児外科における治療方針の立案能力を会得する。
 - (2) 自己学習の習慣を養うことによって医師として望ましい態度を会得できる。

行動目標（SBOs）：

1. 臨床検査法・手術適応・手術方法・局所解剖を説明できる。
2. 遅刻をしない。
3. 手術前に予習をする。
4. 質問されたことを復習して解決する。
5. 患者のプライバシー等に配慮し、メモなしでプレゼンする。
6. 教授回診の際に電子カルテを用いてプレゼンする。
7. 糸結びができる。
8. 呼吸器外科到達目標（別掲）を理解しレポートを作成する。
9. 5年生ポリクリ心得（別掲）を理解し遵守する。呼吸器外科、小児外科での臨床検査法を理解し遵守する。

特に留意すべき注意事項：

呼吸器外科および小児外科はポリクリ学生が選択する（4+3 または 5+2）。
各週 1 件ずつレポートを提出する。

1.呼吸器外科学

- 1) 毎週木曜日朝 8 時 15 分の症例カンファランスで発表する。
- 2) 火曜日朝 8 時 15 分からの胸部腫瘍カンファランス、チェストカンファランスに出席する。
- 3) 毎週水曜日朝 8 時 15 分の教授カルテ回診で症例をプレゼンする。

2.小児外科学

- 1) 毎週火・金曜日朝 8 時から外科のカンファランスに出席する。
- 2) 毎週水曜日は 14 時から東 5F 又は ICU の回診に参加する。

事前学修時間：

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

第5学年臨床実習スケジュール[呼吸器外科学/小児外科学]

[第1週]

指導医師名：①谷田達男教授 ②出口博之講師 ③友安信特任講師

曜	1時限	2時限	3時限	4時限
月	8:30 朝会、手術実習 [東5階カンファレンス室、 手術室]	手術実習	手術実習	手術実習
[場所]		[手術室]	[手術室]	[手術室]
[指導医]	①②③	②③	②③	②③
火	8:15 (呼外) チェストカンファ又は腫瘍カンファ、手術実習 8:00 (小外) 外科カンファ [東5階カンファ室又は西6 階放射線カンファ室、手術室]	手術実習	手術実習	手術実習
[場所]		[手術室]	[手術室]	[手術室]
[指導医]	①②③	②③	②③	②③
水	8:30 朝会、教授回診	ベッドサイド実習	次週手術症例検討会	次週手術症例検討会 教授回診
[場所]	[東5階カンファレンス室、病棟]	[病棟]	[東5階カンファレンス室]	[東5階カンファレンス室]
[指導医]	①②③	②③	②③	①②③
木	朝会、手術実習 8:15 (呼外) 症例カンファランス 発表 [東5階カンファレンス室、 手術室]	手術実習	手術実習	手術実習
[場所]		[手術室]	[手術室]	[手術室]
[指導医]	①②③	②③	②③	①②③
金	8:30 朝会、手術実習 8:00 (小外) 外科カンファ [東5階カンファレンス室、 手術室]	手術実習	手術実習	手術実習
[場所]		[手術室]	[手術室]	[手術室]
[指導医]	①②③	②③	②③	②③

[第2週]

指導医師名：①谷田達男教授 ②出口博之講師 ③友安信特任講師

曜	1時限	2時限	3時限	4時限
月	8:30 朝会、手術実習 [東5階カンファレンス室、 手術室]	手術実習	手術実習	手術実習
[場所] [指導医]	①②③	[手術室] ②③	[手術室] ②③	[手術室] ②③
火	8:15 (呼外) 腫瘍カンファ又は チェストカンファ、手術実習 8:00 (小外) 外科カンファ	手術実習	手術実習	手術実習
[場所] [指導医]	[西6階放射カンファ室又は 東5階カンファ室、手術室] ①②③	[手術室] ②③	[手術室] ②③	[手術室] ②③
水	8:30 朝会、教授回診	ベッドサイド実習	次週手術症例検討会	次週手術症例検討会 教授回診
[場所] [指導医]	[東5階カンファレンス室、病棟] ①②③	[病棟] ②③	[東5階カンファレンス室] ②③	[東5階カンファレンス室] ①②③
木	8:15 朝会、手術実習	手術実習	手術実習	手術実習
[場所] [指導医]	[東5階カンファレンス室、 手術室] ①②③	[手術室] ②③	[手術室] ②③	[手術室] ①②③
金	8:30 朝会、手術実習 8:00 (小外) 外科カンファ	手術実習	口頭試問・レポート提出	口頭試問・レポート提出
[場所] [指導医]	[東5階カンファレンス室、 手術室] ①②③	[手術室] ②③	[東5階カンファレンス室または 教授室] ①	[東5階カンファレンス室または 教授室] ①

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用区分	使用機器・器具等の名称	台数	使用目的
手術用機械	胸腔鏡ビデオシステム	1台	胸腔鏡手術に用いる。
手術用機械	気管支ファイバースコープ	1台	術中・術後管理時に気管支内の病変の観察を行う。
手術用機械	パルスオキシメータ	1台	術中・術後管理時または外来診察時に経皮的酸素飽和度を測定
手術用機械	ワーナーフレーム (YNP-2546)	1台	臨床実習手術見学
手術用機械	超音波手術システムソノサージ (s-t) 本体 (SONOSURG-G2-SP)	1台	臨床実習手術見学
手術用機械	VISER 腹腔・胸腔ビデオスコープ (LTETVPE VP)	1台	臨床実習手術見学
診断用機械	インファントウォーマー	1台	新生児、乳児の集中監視装置として使用。
診断用機械	腹部エコー装置	1台	腹部疾患の診断およびエコーガイド下穿刺に用いる。
診断用機械	人工呼吸器	1台	呼吸管理に用いる。
診断用機械	硬性気管支鏡	1台	気管内異物摘出の際に用いる。
実習用機械	気管支鏡セット式 (K10020ATA)	1台	臨床実習における手術見学の際に使用する。
視聴覚用機械	シャウカステン	1台	胸部 X 線写真、CT、MRI の読影に用いる。
視聴覚用機械	HDD ビデオレコーダー (RD-X4)	1台	臨床実習における手術見学の際に使用する。
視聴覚用機械	プロジェクター (U4-U-237)	1台	臨床実習セミナー
その他	ノートパソコン (VAIOVGN-FS50B)	1台	臨床実習用資料作成
その他	シュレッター (V231S)	1台	講義・臨床実習にける個人情報管理
視聴覚用機械	パソコン (S T 110)	一式	臨床実習における症例検討
視聴覚用機械	パソコン (VGN-SZ94PS)	1台	臨床実習における症例検討

成績評価方法

臨床実習評価は以下の項目について 100 点満点で評価する。

1. 受講態度：20 点
2. 実習評価 1（教員による学生評価シート I）：10 点
3. 実習評価 2（教員による学生評価シート II、教員による観察記録）：20 点
4. 実習初日試験：25 点
5. 国家試験問題形式の口頭試問：25 点